

別紙

I. 事業評価総括表（令和元年度）  
（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	地域活性化措置	大野市図書館維持運営事業	大野市	13,793,234	10,419,000	
2	地域活性化措置	公立保育園維持運営事業	大野市	49,406,848	31,932,000	
3	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	舗装補修事業その1（市道北大野駅上中野線）	大野市	9,438,000	6,800,000	
4	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	舗装補修事業その2（市道大野高校東線）	大野市	6,976,800	6,000,000	
5	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	市営バス和泉3線車両購入事業	大野市	3,677,400	3,200,000	
6	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	菖蒲池簡易水道施設改良事業	大野市	15,532,000	12,800,000	

（備考） 事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和元年度）

番号	措置名	交付金事業の名称					
1	地域活性化措置	大野市図書館維持運営事業					
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		大野市					
交付金事業実施場所		大野市天神町					
交付金事業の概要		<p>大野市図書館では、生涯学習の一助として、図書資料の提供、各種講座、読書会等を行っています。また、近年では、子どもの読書活動の重要性から、児童サービスに重点をおいた事業も多数行っており、「大野市子ども読書活動推進計画」の実施主体として、市民全体に意識付けを行う役割を担っています。</p> <p>本補助金を活用し、大野市図書館の健全な維持運営を通じて、図書資料等の情報提供サービスの充実や学習機会を提供することで、市民の生涯学習推進を図っています。（人件費3人分）10か月分）</p>					
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>交付金事業に関する主要政策・施策 第五次大野市総合計画後期基本計画（平成28年度～令和2年度） 基本施策1 結の心あふれる人づくり 施策2 生涯学習の推進 目標：図書館の来館者数 87,500人（令和2年度）</p>					
事業開始年度		令和元年度	事業終了（予定）年度		令和元年度		
事業期間の設定理由							
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和元年度	
	図書館の来館者数 87,500人（令和2年度）	図書館の来館者数 （人）	成果実績	人	97,555		
			目標値	人	87,500		
			達成度	%	111.5%		
	評価年度の設定理由						
	—						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	令和元年度の図書館への来館者数は97,555人であり、令和2年度の目標数を達成できる見込みではありますが、図書資料を充実させ様々な情報とふれる機会を提供することで、さらなる市民の生涯学習推進と来館者数の増加を図ります。						
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	図書館職員の雇用量 （雇用人数（人）×雇用期間（月））		活動実績	人	36	36	30
			活動見込	人	36	36	30
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%
交付金事業の総事業費等		平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考		
総事業費		19,440,678	19,080,409	13,793,234			
交付金充当額		9,646,000	11,430,000	10,419,000			
うち文部科学省分		0	0	0			
うち経済産業省分		9,646,000	11,430,000	10,419,000			
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
人件費		雇用		図書館職員		13,793,234	
交付金事業の担当課室		大野市総務課					
交付金事業の評価課室		大野市総務課					

II. 事業評価個表（令和元年度）

番号	措置名	交付金事業の名称						
2	地域活性化措置	公立保育園維持運営事業						
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		大野市						
交付金事業実施場所		大野市朝日ほか2件						
交付金事業の概要		<p>荒島、阪谷、和泉の各保育園では、地域の特性を活かし、豊かな自然に親しみ、高齢者との世代間交流等を行うことにより、地域社会との関わりを深めるなど、子ども自らがその体験を通して、好奇心や探求心を抱き、自分で考え、そして自己表現できる“生きる力”を育むことを保育の目標としており、各地区の子育て支援の核的機能を果たしています。また、各保育園は市街地から約5～30km離れた村部～山間部にあり、各地区における子育て支援の一層の充実を図るためには、各保育園の健全な維持運営が不可欠です。</p> <p>本補助金を活用し、公立保育園の健全な維持運営を通じて、魅力的で独創的な保育を展開することにより、各地区の児童の心身ともに健やかな成長を図っています。（人件費 3保育所・保育士7名、調理師3名）人件費10名分）10か月分。）</p>						
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>交付金事業に関する主要政策・施策                      第五次大野市総合計画後期基本計画（平成28年度～令和2年度）                      基本施策8 子どもと子育て家庭への支援 施策2 保育サービスの充実                      目標：保育を必要とする児童の入所率 100%（令和元年度）</p>						
事業開始年度		令和元年度		事業終了（予定）年度		令和元年度		
事業期間の設定理由								
交付金事業の成果目標及び成果実績		成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和元年度	
		保育を必要とする児童の入所率 100%（令和2年度）	保育を必要とする児童の入所率 （%）	成果実績	人	100		
				目標値	人	100		
				達成度	%	100.0%		
		評価年度の設定理由						
		—						
		交付金事業の定性的な成果及び評価等						
		児童の入所率については目標を達成していますが、引き続き児童の心身共に健やかな成長を支えるため、魅力的かつ独創的な保育の展開を図ります。						
評価に係る第三者機関等の活用の有無								
無								
交付金事業の活動指標及び活動実績		活動指標			単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		保育士・調理師の雇用量 （雇用人数（人）×雇用期間（月））	活動実績	人	36	108	100	
			活動見込	人	36	108	100	
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
交付金事業の総事業費等		平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考			
		総事業費	16,276,010	49,155,660	49,406,848			
		交付金充当額	9,647,000	27,980,000	31,932,000			
		うち文部科学省分	0	0	0			
		うち経済産業省分	9,647,000	27,980,000	31,932,000			
交付金事業の契約の概要								
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額		
人件費		雇用		保育士・調理師		49,406,848		
交付金事業の担当課室		大野市総務課						
交付金事業の評価課室		大野市総務課						

II. 事業評価個表（令和元年度）

番号	措置名	交付金事業の名称				
3	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	舗装補修事業その1（市道 北大野駅上中野線）				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		大野市				
交付金事業実施場所		大野市 中野 地係 ほか2件（市道 北大野駅上中野線）				
交付金事業の概要		<p>市道北大野駅上中野線は、居住人口の多い市街地中心部を行きかうための重要な生活道路であるとともに、沿線には下庄小学校があることから、利用者が多い重要な路線となっておりますが、舗装の損傷が著しく、道路利用者の円滑な通行の妨げとなっている状況です。そこで、本補助金を活用し、公共下水道工事敷設箇所の舗装本復旧と連携し、効率良く一体的に舗装補修を行い、生活道路としての機能回復を図ります。</p> <p>・北大野駅上中野線 R元:L=570.9m 土工1式 表層工 A=1,910㎡ 不陸整正工 A=1,910㎡ 区画線設置工 1式</p>				
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		<p>第五次大野市総合計画後期基本計画（平成28年度～令和2年度） 基本施策：人にやさしい道路環境の創出 施策：生活道路の管理と整備 目標：損傷した市道の適切な補修による生活道路の安全性及び利便性の確保し、住民からの苦情の件数を0件にする。</p>				
事業開始年度		令和元年度	事業終了（予定）年度		令和元年度	
事業期間の設定理由						
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和元年度
	住民からの苦情報告件数0件	住民から市役所への当該道路への苦情件数	成果実績	人	0	
			目標値	人	0	
			達成度	%	100.0%	
	評価年度の設定理由					
	—					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	<p>損傷の激しい市道の舗装補修を行うことで、道路利用者の安全で円滑な通行に寄与することができました。</p>					
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和元年度	
	北大野駅上中野線 L=570.9m		活動実績	m	570.9	
			活動見込	m	570.9	
			達成度	%	100.0%	
交付金事業の総事業費等		令和元年度			備考	
総事業費		9,438,000				
交付金充当額		6,800,000				
うち文部科学省分		0				
うち経済産業省分		6,800,000				
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法	契約の相手方		契約金額	
舗装補修工事		一般競争入札	大野開発工業株式会社（大野市）		9,438,000	
交付金事業の担当課室		大野市建設整備課				
交付金事業の評価課室		大野市建設整備課				

II. 事業評価個表（令和元年度）

番号	措置名	交付金事業の名称				
4	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	舗装補修事業その2（市道 大野高校東線）				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		大野市				
交付金事業実施場所	大野市 新庄 地係 ほか1件（市道 大野高校東線）					
交付金事業の概要	<p>市道大野高校東線は、居住人口の多い市街地中心部を行きかうための重要な生活道路であるとともに、沿線には大野高等学校があることから、利用者が多い重要な路線となっておりますが、舗装の損傷が著しく、道路利用者の円滑な通行の妨げとなっている状況です。そこで、本補助金を活用し舗装補修事業を実施することで、市民の生活道路の安全性及び利便性を確保します。</p> <p>・大野高校東線 施工延長L=415.5m          土工1式 表層工 A=1,360㎡ 不陸整正工 A=1,360㎡ 区画線設置工 1式</p>					
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>第五次大野市総合計画後期基本計画（平成28年度～令和2年度）          基本施策：人にやさしい道路環境の創出          施策：生活道路の管理と整備          目標：損傷した市道の適切な補修による生活道路の安全性及び利便性の確保し、住民からの苦情の件数を0件にする。</p>					
事業開始年度	令和元年度	事業終了（予定）年度	令和元年度			
事業期間の設定理由						
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和元年度
	住民からの苦情報告件数0件	住民から市役所への当該道路への苦情件数	成果実績	人	0	
			目標値	人	0	
			達成度	%	100.0%	
	評価年度の設定理由					
	—					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	<p>損傷の激しい市道の舗装補修を行うことで、道路利用者の安全で円滑な通行に寄与することができました。</p>					
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和元年度	
	施工延長L=415.5m	活動実績	m	415.5		
		活動見込	m	415.5		
		達成度	%	100.0%		
交付金事業の総事業費等	令和元年度				備考	
総事業費	6,976,800					
交付金充当額	6,000,000					
うち文部科学省分	0					
うち経済産業省分	6,000,000					
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
舗装補修工事		一般競争入札		株式会社 土本組（大野市）		6,976,800
交付金事業の担当課室	大野市建設整備課					
交付金事業の評価課室	大野市建設整備課					

II. 事業評価個表（令和元年度）

番号	措置名	交付金事業の名称				
5	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	市営バス和泉3線車両 購入事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		大野市				
交付金事業実施場所		大野市一円（主に和泉地区）				
交付金事業の概要		市営バス和泉3線は、和泉地区内や和泉地区と大野市街地間の移動手段の確保を担っており、特に移動制約者にとっては欠かせない路線となっています。しかしながら当該路線は、大野市の中でも特に積雪が多い和泉地区を主に運行しており、現行車両は融雪剤による車両本体の腐食や老朽化（購入から14年経過、走行距離は472,000km）による損傷が激しいことから、地域住民の安全性と利便性の確保のため車両の更新事業に本補助金を活用します。				
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		第五次大野市総合計画後期基本計画（平成28年度～令和2年度） 基本施策：公共交通手段の確保 施策：バス運行の充実 目標：市営バス和泉3線の年間乗客数 3,500人（令和2年度） （全体：大野市内バスの年間乗客数 36,000人（令和2年度））				
事業開始年度		令和元年度	事業終了（予定）年度		令和元年度	
事業期間の設定理由						
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和2年度
	市営バス和泉3線の年間乗客数3,500人（令和2年度）	年間乗客数3,500人	成果実績	人		3,124
			目標値	人		3,500
			達成度	%		89.3%
	評価年度の設定理由					
	事業完了後に成果指標の評価が可能になるため。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	老朽化による損傷が激しかった市営バスの更新を行うことができ、利用者に対して安全、安心な運行を確保することができました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標値である年間乗客数3,500人には達しませんでした。引き続き地域住民や利用者に対して市営バスの乗車利用の呼びかけを積極的に行います。					
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和元年度	
	バス車両の更新（1台）		活動実績	台	1	
			活動見込	台	1	
			達成度	%	100.0%	
交付金事業の総事業費等		令和元年度			備考	
総事業費		3,677,400				
交付金充当額		3,200,000				
うち文部科学省分		0				
うち経済産業省分		3,200,000				
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
車両購入		指名競争入札		有限会社タッカー（大野市）		3,677,400
交付金事業の担当課室		大野市建築営繕課				
交付金事業の評価課室		大野市建築営繕課				

II. 事業評価個表（令和元年度）

番号	措置名	交付金事業の名称			
6	公共用施設に係る整備、維持補修または維持運営等措置	菖蒲池簡易水道施設改良事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		大野市			
交付金事業実施場所	大野市 菖蒲池 地係				
交付金事業の概要	<p>菖蒲池簡易水道は、給水開始から43年が経過し、施設の老朽化が著しく安定した水道水の供給が困難な状況にあります。そこで、本補助金を活用し、近隣の上水道と統合するための連絡管整備を行うことで、安全で安心な飲料水を供給するとともに、今後必要となる施設更新費の削減を図ります。</p> <p>施工延長 L=211.1m                  配水管布設工事 DIP-NSE φ150 L=166.1m                  HPPE φ150 L=30.5m（内橋梁添架L=25.0m）                  VP φ75 L=14.5m                  土工 N=1式 取壊工 N=1式 舗装工 A=241㎡</p>				
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	主要政策 第五次大野市総合計画 基本施設17 快適な生活関連の基盤整備 水道の整備 目標 施設更新・維持管理費の縮減 維持費C=1百万円/年減				
事業開始年度	令和元年度	事業終了（予定）年度	令和元年度		
事業期間の設定理由					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標	単位	評価年度	令和2年度
	維持費C=1百万円/年減	電気料や水質検査の維持管理費用	成果実績	円	141,300
			目標値	円	1,000,000
			達成度	%	14.1%
	評価年度の設定理由				
	事業完了後に成果指標の評価が可能になるため。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
菖蒲池簡易水道施設改良事業は、近隣の上水道と統合を見据えた連絡管整備であり、供給する上水道施設の安定した運転状況等を確認しながら徐々に移行する必要があります。事業完了から令和2年度まで順調に移行することができていることから、令和3年度末の上下水道と統合にかかる変更認可後は、電力や法的水質検査が削減され、目標額の達成が見込まれます。					
評価に係る第三者機関等の活用の有無					
無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和2年度	
	配水管布設工 φ150 L=211.1m	活動実績	式	211.1	
		活動見込	式	211.1	
		達成度	%	100.0%	
交付金事業の総事業費等	令和元年度			備考	
総事業費	15,532,000				
交付金充当額	12,800,000				
うち文部科学省分	0				
うち経済産業省分	12,800,000				
交付金事業の契約の概要					
契約の目的		契約の方法	契約の相手方	契約金額	
施設改良工事		一般競争入札	大野衛生設備株式会社（大野市）	15,532,000	
交付金事業の担当課室	大野市上下水道課				
交付金事業の評価課室	大野市上下水道課				